

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・ドイツ語初級	講座名	ドイツ語 初級	対象年次	1
教科担任	吉羽 里恵			単位数	1
教科書	新ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応				
副教材等	適宜副教材プリント				

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初級ドイツ語の総合的な力(読む・聞く・話す・書く)の基盤を作る。 ・言葉そのものの学習と並行して、ドイツ語圏の人々の生活、習慣、文化への理解を深める。
------	---

月	期間	単 元	配当時間	学 習 内 容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	はじめてのドイツ語導入	6 h	ドイツ語で自己紹介 (名前・出身・住んでいるところ・職業・年齢) ドイツ語のあいさつ 独会話演習	ドイツ語の音に慣れさせる。 表現を何度も繰り返すことで自然と発話できるようにさせる。 独文法の導入は一切行わない。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	はじめてのドイツ語導入(2)	6 h	ドイツ語のアルファベット ドイツ語綴りの決まりごと ドイツの発音規則 数詞 独会話演習	ドイツ語に特徴的な発音規則を英語の発音規則との対照により、その違いを理解させる。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	Lektion 1	7 h	会話場面：空港での出会い(1) 文法事項：規則変化動詞の現在人称変化語順(定動詞正置) 文化演習：ドイツ語を話す国々について 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語規則変化動詞の現在人称変化の理解を促す。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	Lektion 2	7 h	会話場面：空港での出会い(2) 文法事項：不規則変化動詞(sein/haben)の現在人称変化語順(定動詞倒置) 文化演習：ドイツの文学について 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語不規則変化動詞の現在人称変化の理解を促す。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	Lektion 3(1)	9 h	会話場面：街の散策 文法事項：名詞の性・数・格 文化演習：ベルリンのブランデンブルク門	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語名詞の文法上の「文法性・文法格」への理解を徹底させる。
評価の観点 ・方法		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・出席率 ・授業に対する集中力 			

令和3年度 年間授業計画

東京都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・ドイツ語中級	講座名	ドイツ語 中級	対象年次	2
教科担任	吉羽 里恵			単位数	1
教科書	新ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応				
副教材等	適宜副教材プリント				

学習目標	・初級での学習をふまえ、ドイツ語の総合的な力(読む・聞く・話す・書く)を一層充実させ、ドイツ語技能検定試験5級合格レベルの外国語運用能力を目指す。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	Lektion 3(2)	9 h	会話場面：街の散策 文法事項：定冠詞と不定冠詞 文化演習：日独文化交流について 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語定冠詞・不定冠詞の格システムへの理解を徹底させる。
		Lektion 4		会話場面：学生食堂にて 文法事項：不規則変化動詞の現在人称変化 文化演習：首都ベルリンの歴史 独会話演習	不規則変化動詞のパターンを理解し、日常生活で頻繁に使用する動詞を自由に運用できるようパターン練習を徹底する。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	Lektion 5(1)	14 h	会話場面：病院にて(1) 文法事項：人称代名詞の3・4格 文化演習：ドイツにおける外国人問題について	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語人称代名詞の格システムへの理解を徹底させる。
		Lektion 5(2)		会話場面：病院にて(2) 文法事項：名詞の複数形 文化演習：ドイツの音楽 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語複数名詞の体系を英語との対照により理解させる。
7月 ～ 9月	第三回定期考査	Lektion 6(1)	12 h	会話場面：友人宅への訪問(1) 文法事項：不定冠詞類(所有冠詞・否定冠詞) 文化演習：ドイツ国歌	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語冠詞類の理解を深め、運用範囲を拡大させる。
評価の観点・方法		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・出席率 ・授業に対する集中力 			

令和3年度 年間授業計画

東京都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・ドイツ語上級	講座名	ドイツ語 上級	対象年次	2
教科担任	吉羽 里恵			単位数	1
教科書	新ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応				
副教材等	適宜副教材プリント				

学習目標	・中級での学習をふまえ、初級ドイツ語の総合的な力(読む・聞く・話す・書く)をより一層充実させ、ドイツ語技能検定試験4級合格レベルの外国語運用能力を目指す。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
10月 ～ 12月	第四回定期考査	Lektion 6(2)	21h	会話場面：友人宅への訪問(2) 文法事項：定冠詞類 文化演習：ドイツの年間行事 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語冠詞類の理解を深め、運用範囲を拡大させる。
		Lektion 7		会話場面：通学時の友人との会話 文法事項：前置詞(3格支配・4格支配) 前置詞の融合形 文化演習：ドイツの宗教について 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語前置詞の導入を図る。英語の前置詞よりも手続きが複雑なことを理解させる。
		Lektion 8		会話場面：道案内・郵便局で 文法事項：前置詞(2格支配・3-4格支配) 文化演習：ドイツの大学について 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語前置詞のうち、最も難易度の高い3-4格支配前置詞の理解を徹底させる。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	Lektion 9	14h	会話場面：旅行案内所で 文法事項：話法の助動詞の人称変化 話法の助動詞構文 文化演習：ドイツの自動車とアウトバーン 独会話演習	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語構文の最たる特徴である「枠構造」への理解を徹底させる。
		Lektion 10		会話場面：ホテルで 文法事項：分離動詞の人称変化 分離動詞構文 文化演習：環境先進国ドイツ ドイツの映画について 総合演習(読解・文法・聴解)	会話演習・文法問題演習・独作文演習を通じ、ドイツ語分離動詞構文の実際場面での運用練習を徹底させる。
評価の観点 ・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・出席率 ・授業に対する集中力 				

教科・科目	外国語・フランス語	講座名	フランス語初級	対象年次	1～3
担当者	鈴木典子			単位数	1
教科書	使用しない				
教材	プリント、CD、DVD				

学習目標	① フランス語の基本的な文法事項を理解し、日常生活に必要な基礎的な語学力を身につける。 ② フランスやフランス語圏の歴史、社会、文化に対する理解を深める。
------	--

月	期間	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学習上の留意点
4		フランス語への招待	3 h	日本語の中のフランス語 簡単な自己紹介 アルファベ	簡単な自己紹介ができる アルファベが聞き取れる
5		数字 発音のルール 動詞の活用の基本	4 h	数字1～10 発音と綴り 動詞 être の活用	数字に慣れる 綴りと発音の関係を理解する 活用を覚える
6	第2回定期 期考査	自分や人を紹介 する	4 h	名詞・形容詞の性と数 否定文・疑問文の作り方	性数変化の規則性を理解する 質問と回答の仕方を身につける
7・ 8		物について話す	2 h	不定冠詞 Qu'est-ce que c'est? (これはなんですか)	不定冠詞を理解する 質問に適切に答える
9		家族について話 す 持ち物について 話す	4 h	所有形容詞 動詞 avoir の活用と用法 数字 11～100	所有形容詞について理解する 動詞 avoir を用いて年齢、持ち物について話せるようになる
10		体調について話 す 場面を描写する	4 h	動詞 avoir を用いた様々な表現 Il y a (～がある) 場所を表す表現	動詞 avoir を用いて様々な表現ができる 場面の描写ができる
11	第4回定期 期考査	好き嫌いについて話 す	4 h	好き嫌いを表す第1群動詞 (aimer, détester 等) の活用 定冠詞	好き・嫌いについて質問したり答えたりすることができる 定冠詞について理解する
12		第1群動詞の理 解	3 h	日常的によく使う第1群動詞 (parler, habiter 等)	第1群動詞の活用を身につけ、表現の幅を広げる
1		食生活について話 す	3 h	食に関わる動詞(manger, boire, prendre)の活用 部分冠詞	食習慣について質問したり答えたりすることができる 部分冠詞について理解する
2	第5回定期 期考査	行き先や交通手 段について話す	3 h	動詞 aller の活用 冠詞の縮約 国名と前置詞	行き先や交通手段について質問したり答えたりすることができる
3		復習	1 h	既習事項を用いたスキットまたはスピーチの発表	フランス語で表現する楽しさを味わう
評価の観点 ・方法		発表・小テスト・定期考査の得点、課題の提出状況、出席状況、授業への積極的参加の状況により総合的に判断して行う			

教科・科目	外国語・フランス語中級	講座名	フランス語 中級	対象年次	2
担当者	山中 由紀子			単位数	1
教科書	使用しない				
教材	プリント配布、CD、DVD				

学習目標	①フランス語の基本的な文法事項を理解し、日常会話に実際に使える程度の語学力を身につける。 ②将来、フランス語を生かした、学業・就労・生活を可能にするための基礎的素養を身につける。
------	--

月	期間	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一 回定期 考査	第1群規則動詞	2 h	第1群規則動詞を中心として、直説法現在形が使いこなせるように基礎を固める。	日常生活に直結した表現ができるようにする。
		非人称	2 h	時間や天候の表現が、できるようにする。	フランス独自の時刻の表現法に慣れさせる。
5月 ～ 7月	第二 回定期 考査	義務をあらわす表現	6 h	il faut～、devoir, 命令文と否定命令文	様々な注意書きが理解できるようにする。
		様々な疑問詞		なぜ、いつ、どこ、どのようになどの表現	
		言葉を言い換える。	指示代名詞、指示形容詞、所有形容詞	性数変化に気を付ける。	
7月 ～ 9月	第三 回定期 考査	代名動詞	6 h	Se lever, se voir など 互いに～する、自分自身を～するなどの表現	ラテン語系の言語独特の表現になれる。
		終わったばかりの出来事の表現		動詞 venir と近接過去(～したところだ)の表現	近接未来との用法の違いに気を付ける。
7月 ～ 9月	第三 回定期 考査	人に依頼する。	6 h	Pouvoir と vouloir を用いた欲求, 可能, 依頼などの表現	自分の要望などが表現できるようにする
7月 ～ 9月	第三 回定期 考査	比較する	8 h	Plus などを用いた形容詞や副詞の比較級、最上級	形容詞の性数変化に気を付ける。
		過去の出来事を表現する		Être を用いる複合過去と Avoir を用いる複合過去	過去分詞の性数変化に気を付ける
7月 ～ 9月	第三 回定期 考査	複合過去の語順	8 h	複合過去の現在完了的性格 代名詞、代名動詞、否定文 の場合などの語順	Ne pas の位置に注意
評価の観点・方法		定期考査の得点、課題の提出状況、出席状況授業への積極的参加の状況により総合的に判断して行う。			

教科・科目	外国語・フランス語上級	講座名	フランス語 上級	対象年次	2
担当者	山中 由紀子			単位数	1
教科書	使用しない				
教材	プリント配布、CD、DVD				

学習目標	② 文献を読む上で必要な文法力を身につけ、仏検 3 級程度のフランス語を使いこなせるようにする ②自分が関心を持っている分野の情報収集や、簡易な情報発信がフランス語でできるようにする
------	--

月	期 間	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学習上の留意点
10 月 ～ 12 月	第 四 回 定 期 考 査	これからのことを表現する 特殊な代名詞	4 h	未来形(単純未来)の用法(予測、意思など)と語尾変化。時を示す様々な表現 前未来(未来における完了) En、y(そこに、そこへ)、le(中世代名詞)	動詞それ自体が語尾変化することに注意する 複合過去との類似に着目する。 独特な用法に注意する
		過去の状況表現する 複合過去と半過去の使い分け	4 h	半過去(ある時点で展開中の過去) 完了した過去と展開中の過去を使い分ける。	語尾変化に注意する 数多くの例文、問題にふれながら使い分けができるようにする。
		関係詞 強調構文 指示代名詞	8 h	・関係代名詞等の基本を学ぶ。 フランス語独自の dont を理解する。 ・主語、目的語など強調するものによる違いを理解する。 ・前述の物を示す表現	英語の場合と比較して学ぶ 日常生活における出来事を表現してみる 性数変化に気を付ける
1 月 ～ 3 月	第 五 回 定 期 考 査	受動態 現在分詞とジェロンティフ	4 h	Être+過去分詞を用いて表現する。 代名詞で受動態の意味を持つ表現をする。 理由や時の表現ができるようにする。	過去分詞の性数変化に注意する。 特にジェロンティフが使いこなせるようにする
		条件法現在 接続法現在	4 h	・仮定法における現在の事実に偏する結果、語気緩和の用法を学ぶ ・頭で考えたことを希望目的としてあらかず接続法を学ぶ	依頼の丁寧語に慣れる Il faut(～しなければならない)など身近な表現とともに用いてみる。
		フランス語の実際	4 h	報道のフランス語(新聞記事を読んだりニュース番組を見たりする) フランス文学入門(「星の王子様」など抜粋を読む)	学習者用に加工されていない生のフランス語に触れる。達成感を味わう。
評価の観点・方法	定期考査の得点、課題の提出状況、出席状況授業への積極的参加の状況により総合的に判断して行う。				